

# 「新しい茨城」への挑戦

茨城県総合計画審議会

- ◇最近の茨城の動き
- ◇「新しい茨城」への挑戦

令和2年1月27日  
茨 城 県

# 最近の茨城の動き

2019.6  
G20茨城つくば貿易・デジタル  
経済大臣会合開催



2019.9～10  
天皇陛下御即位記念  
第74回国民体育大会開催

## 被害の状況

◇台風第15号による被害（農林水産業）パイプハウス被害など60.5億円

◇台風第19号による被害 … 記録的豪雨により那珂川や久慈川が氾濫し、甚大な被害が発生

＜県内被害の状況＞

- ：（人的被害） 死者2名，行方不明1名
- ：（建物） 全壊292棟，半壊2,397棟，一部損壊1,821棟
- ：（農林水産業） 97.3億円
- ：（中小企業） 115.3億円（12/19現在）



▲ J R水郡線の橋梁の流失

## 災害対応に向けた補正予算措置（R元.11月臨時会にて予算措置）

補正予算の規模：354億59百万円

・台風第15号，第19号による被害に対してスピード感をもって対応

1. 生活再建に向けた支援

避難所の設置などの救助に係る経費や**県独自の住宅復旧支援** など

2. 農業者や中小企業者等への支援

**農業用機械・施設や中小企業の施設・設備の復旧等に対する支援**，**災害対策融資枠等の拡充**，**観光需要回復のための支援** など

3. 災害復旧事業 等

河川や農地，県立学校等の復旧工事 等

## 2019年

### ▶ G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合

開催期間：2019.6.8～9

会場：つくば国際会議場（つくば市）



### ▶ いきいき茨城ゆめ国体, いきいき茨城ゆめ大会

開催期間：国体 2019.9.28～10.8

障害者スポーツ大会 2019.10.12～14(台風のため中止)

会場：全市町村 成績：天皇杯（男女総合優勝）,皇后杯（女子総合優勝）



### ▶ 全国初の都道府県対抗eスポーツ選手権大会

茨城国体に合わせて、都道府県対抗eスポーツ大会を開催

開催期間：本大会 2019.10.5～6（2日間）

競技：ウイングイレブン2019, グランツーリスモSPORT, ふよぶよeスポーツ

成績：3競技の総合得点で695点獲得, 総合優勝



## 2020年

### ▶ 東京2020オリンピック

茨城カシマスタジアムでサッカー競技開催

サッカー競技日程 2020.7.23～8.6の間 男女準決勝含む11試合（8日間）

◇県内の聖火リレー：2020.7.5～6 鹿嶋市外15市町を巡回（全国45番目）





## 高速道路

### ◇常磐道へのアクセス向上

- ・水戸北スマートICのフルIC化（2019.9.7～）
- ・石岡小美玉スマートICと茨城空港を結ぶ空港アクセス道路の一部開通（2019.9.21～）
- ・（仮称）つくばみらいスマートIC⇒2023年度供用予定

### ◇圏央道

- ・2022～2024年度 4車線化供用予定  
東北自動車道から東関東自動車道まで4車線化
- ・（仮称）つくばスマートIC⇒2021年度供用予定

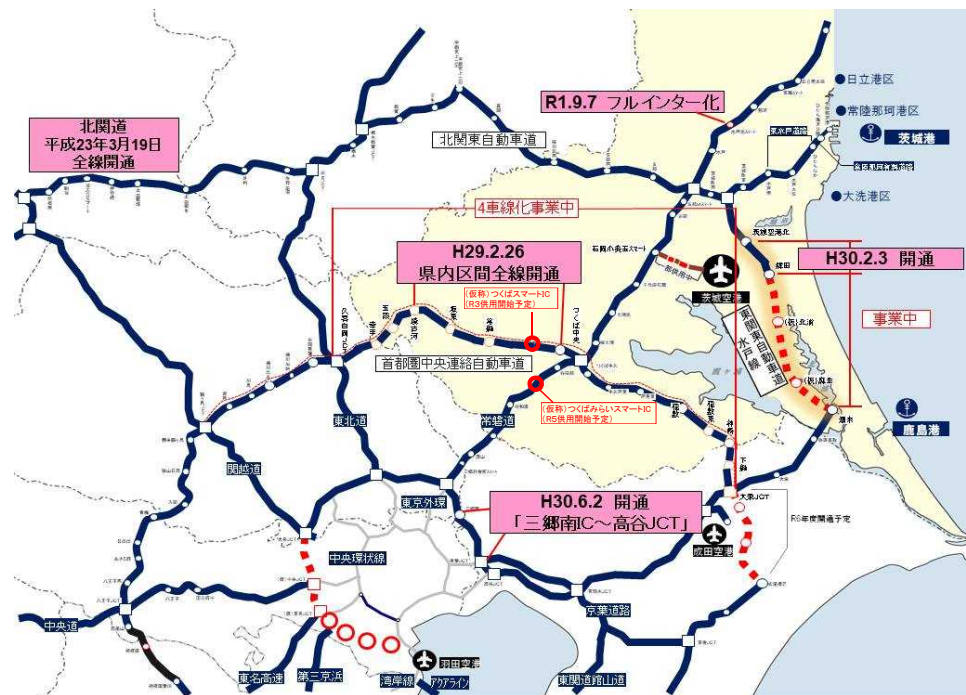
## 鉄道

### ◇JR常磐線上野東京ライン

- ・2017.10 朝の通勤時間帯における土浦方面からの東京駅・品川駅乗り入れが実現

### ◇つくばエクスプレス

- 利用者数：386千人/日（2018年度）
- ・2016.4 国交通政策審議会にて、秋葉原から東京延伸に加え、都心部・臨海地域地下鉄構想との一体的整備も答申
- ・2019.5 8両編成化の実施を決定（2030年代前半予定）



▲2020.3導入予定 新型車両（TX-3000系）イメージ  
（出典）2018年6月首都圏新都市鉄道株「中期経営計画」

## 港湾

### ◇外国クルーズ船の寄港

- ・2019.4 **本県初となる外国クルーズ船「セブンシーズマリナー」寄港**
- ・2020年以降も計 8 隻寄港予定



▲2019.4.28「セブンシーズマリナー」が寄港

## 空港

### ◇茨城空港

2019年旅客実績は**過去最高の82万人を記録**

※暦年

※空港ビル調べ（東京航空局による正式な公表は1月末頃を予定）

(定期便)

- ・2019. 8 神戸便が2→3便/日へ増便
- ・2019.10 西安便が新規就航

(チャーター便)

- ・国内便：種子島(11月), 鹿児島(11月), 奄美(12月), 南紀白浜(12月), 長崎(2020.1)
- ・国際便：青島航空による連続チャーター便  
 長春（11月～毎週火・木・土運航）, 福州（12月～毎週火・金・日運航）  
 南京（2020.1～毎週木・日運航）

### ○国内線

札幌（新千歳）	（スカイマーク）	2 便/日
神戸	（スカイマーク）	<b>3 便/日</b>
福岡	（スカイマーク）	1 便/日
那覇	（スカイマーク）	1 便/日

### ○国際線

上海（浦東）	（春秋航空）	4 便/週
<b>西安（咸陽）</b>	<b>（春秋航空）</b>	<b>4 便/週</b>
台北（桃園）	（タイガーエア台湾）	2 便/週

## 企業立地の促進

◇過去10年間（H21～H30）の合計

「工場立地面積」

「県外企業立地件数」 **全国第1位**

→圏央道の県内全線開通や工業団地の価格引き下げ，県独自の優遇措置等により  
**県全域で引き合いが増加**

◇H30年（通年）工場立地状況

「工場立地面積」 **第1位**

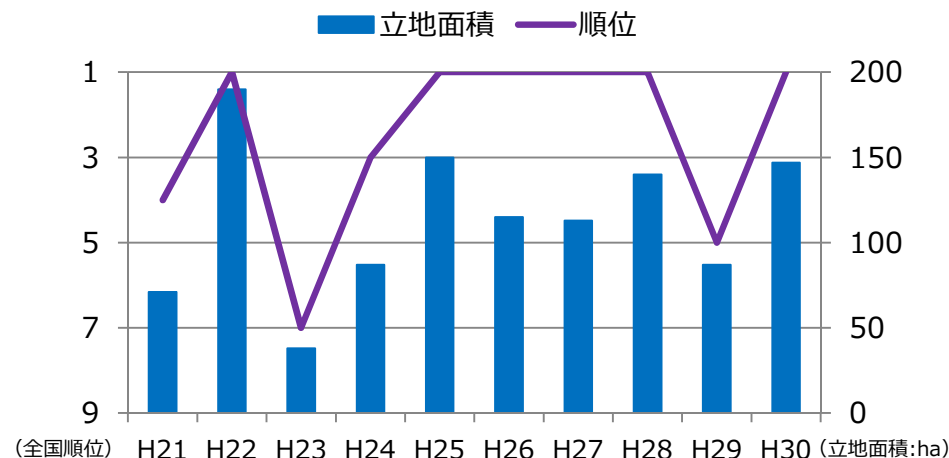
「県外企業立地件数」 **第1位**

「工場立地件数」 **第3位**

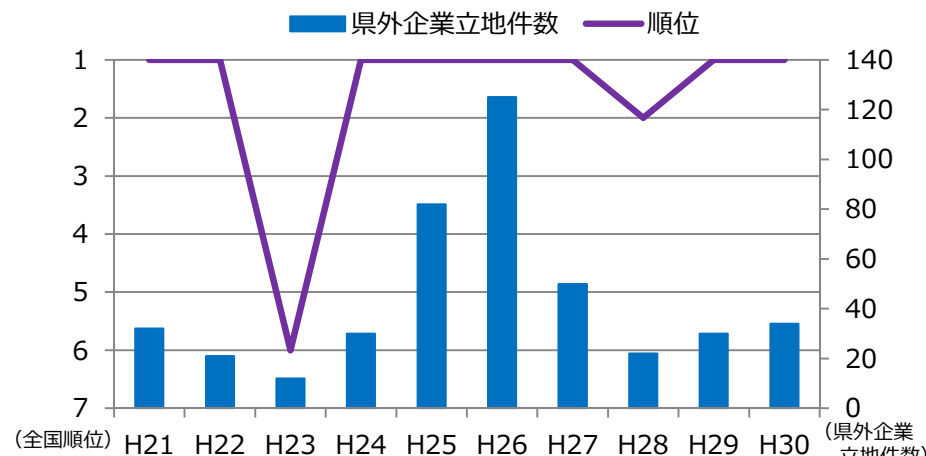
→**経済波及効果（試算）約1,460億円/年**

■ H30工場立地動向調査等に基づく設備投資及び操業開始後の生産活動等に伴う経済波及効果について，直接的な効果から2次波及効果までを民間シンクタンクが試算

■ 調査対象：工場立地動向調査対象68社  
+ 本社機能移転認定10社



▲本県の工場立地面積及び全国順位の推移



▲本県の県外企業立地件数及び全国順位の推移

※H20～26は太陽光を含む

## 企業立地の促進

### ◇全国トップレベルの研究施設・本社機能誘致補助制度を創設 (H30～)

- ・補助対象：新たな成長分野（AIやIoTなど）の本社・本社機能，研究開発機能，研究所等の県外から県内への移転
- ・補助要件：移転人数5人（研究所の場合は10人）以上
- ・補助額：上限50億円（投資額や移転人数等により算出）
- ・対象地域：県内全域



▲企業へ認定書を交付

○本社機能移転強化促進補助金等<sup>(※)</sup>の認定状況  
計16企業を認定（R1.11.7時点）

→ **雇用増加数 約1,900人，総事業費 約660億円**

※本社機能移転強化促進補助金の認定13社のほか，I T関連企業等オフィス賃料補助金等の認定3社の合計

### ・新たな研究拠点が開所（H31.4.9）

補助制度の認定を受けた自動車安全部品メーカーがつくば市に  
研究開発拠点を新設  
自動運転など次世代自動車で要求される安全性の向上及び  
新たな技術開発を行う



▲記念式典の様子



## 全国屈指の農業県

- ◇農業産出額 **全国第3位** (H30 : 4,508億円)
- ◇東京都中央卸売市場における青果物取扱高 **16年連続 全国第1位**  
(H31 : シェア9.8%)
- ◇販売農家 1戸あたり生産農業所得 **全国第11位** (H30 : 330万円)

## 「儲かる農業」への取組

- ◇新たな販路の開拓, 物流コストの縮減
  - ・オイシックスやポケットマルシェ等のネット販売・宅配等を展開する食品流通企業との連携  
→マッチングによる新たな販売ルートの開拓
  - ・やさいバスによる地域内流通の構築
- ◇常陸牛を世界トップブランドへ
  - ・カリフォルニア (H30.10) のほか, ニューヨークでもトップセールス (H31.1)
  - ・米国市場で販路拡大を戦略的に進めるためのマーケティング調査[R1.9補正]



▲ 食品流通企業と生産者のマッチング



▲ 常陸牛を世界トップブランドへ

## 本県観光の現状

◇観光入込客数（延べ人数）  
年間61,836千人（H30）

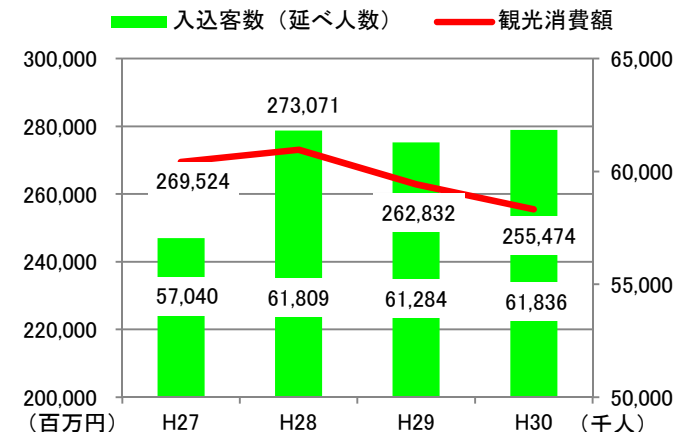
◇観光消費額  
年間255,474百万円（H30）

【入込客数上位市町村（延べ人数）】

(単位：千人)

順位	市町村	入込客数
1位	大洗町	4,531
2位	つくば市	4,217
3位	ひたちなか市	3,922
4位	笠間市	3,704
5位	水戸市	3,676

【本県の観光入込客数及び観光消費額の推移】



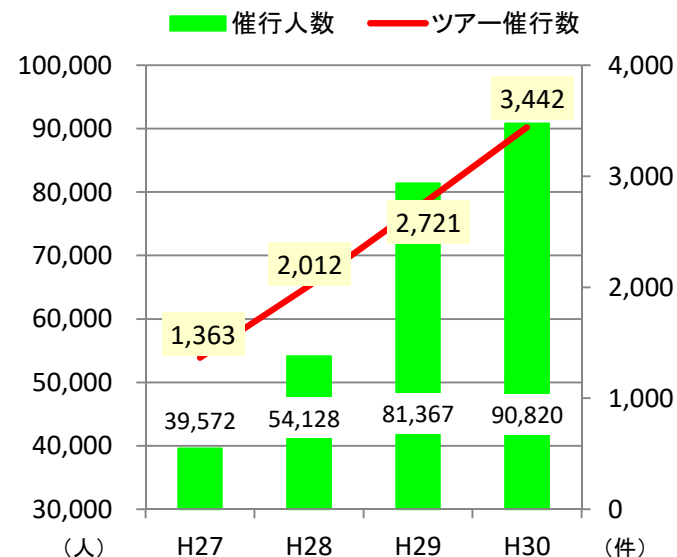
## 本県国際観光の現状

◇海外から本県への周遊・宿泊ツアー  
催行数 3,442件（90,820人）（H30）

◇本県への外国人来訪者数※  
342千人（H30）

※訪日外客数（JNTO）及び「訪日外国人消費動向調査」（観光庁），茨城空港入国外国人等をもとに推計。

【海外からの本県周遊・観光ツアー催行数推移】



## 「いばらき地酒バー」オープン

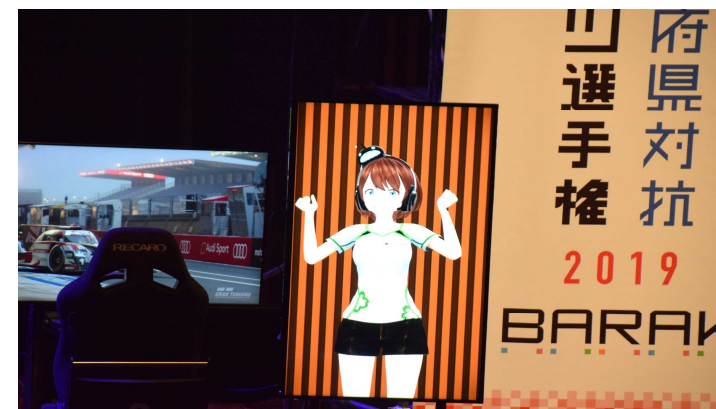
- ・水戸駅ビル(R1.7.31~)及びT Xつくば駅(R1.9.24~)にオープン
- ⇒関東で最も多い42の酒蔵を有する酒どころをPR  
60mlずつ3銘柄が楽しめる飲み比べセットなど提供



▲「いばらき地酒バーつくばオープニングセレモニー」

## Vチューバー「茨ひより」の起用

- ・全国初となる自治体公認Vチューバー「茨ひより」を  
いばキラTVで起用
- ⇒チャンネル登録者数約4.5万人増加  
(「茨ひより」登場(H30.6)以降の約1年間)
- ⇒「茨ひより」ツイッターフォロワー数約2.2万人
- ・広告換算額 約2億4千万円(H30「茨ひより」活動実績の換算)



▲「茨ひより」が全国都道府県対抗eスポーツ選手権で総合MCを担当

# 「新しい茨城」への挑戦

茨城の**未来予想図**を見にいこう！

平成30年10月30日 答申  
平成30年11月16日 決定

茨城県総合計画  
「新しい茨城」への挑戦

『活力があり、県民が日本一幸せな県』

県民・  
市町村・  
企業等との  
連携

新しい  
豊かさ

チャレンジ

I

新しい  
安心安全

チャレンジ

II

新しい  
人財育成

チャレンジ

III

新しい  
夢・希望

チャレンジ

IV

4つのチャレンジを柱とした政策・施策展開

挑戦できる環境づくり

世界から選ばれる茨城

政策・施策を  
展開するための  
4つの視点

高付加価値体質への転換

誰一人取り残さない社会づくり

▲総合計画の政策体系





# 新しい豊かさへのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み，新しい豊かさを目指します。

## ★県内の人手不足解消に向け，外国人材の確保に着手

- ・外国人材と県内企業との橋渡しや，外国人材に選ばれる環境づくりのため「外国人材支援センター」を設置（H31.4）
- ・ベトナムの中央政府及び地方政府と人材の送出し・受入れに関する協力覚書を締結（R1.11）



ベトナム労働・傷病兵・社会問題省との締結式

## ★本県農産物を全国トップクラスに育成し，イメージ向上・高付加価値化を実現

誰もが認めるトップブランドの育成を目指し，茨城県が開発した梨「恵水」と新たな銘柄豚肉「常陸の輝き」について，フェアの開催，Web等やメディアを活用した情報発信等により認知度向上を図り，戦略的な営業活動を展開



恵水



「幻の恵水」を高級果実店で販売



## ★「未来をつなぐ」 事業承継に向けた支援

地域経済を支える中小企業者を支援するため、県、商工会議所、商工会、金融機関、支援機関、士業団体等で構成する「茨城県事業承継支援ネットワーク」と連携し、中小企業等のM & A マッチングを推進

事業承継ネットワーク参加機関の職員が訪問します。

※診断を希望する方は、最寄りの参加機関にご連絡ください



「事業承継診断」による簡単なご質問にお答えいただきます。



「事業承継診断」の結果を参考としながら、適切な専門機関や専門家をご紹介します。



## ★ベンチャー企業の県内での定着・成長を促進

TXつくば駅周辺において新たなインキュベーション施設である「つくば創業プラザ スタートアップ オフィス」を開設（R1.12入居開始）  
 ・部屋数 6 室（今年度中に全室入居予定）



入居者募集 茨城県が「つくば創業プラザ」のつくば駅前拠点として、スタートアップオフィスを新たに開設。

つくば創業プラザ

Start Up Office

スタートアップのための良質なオフィス

つくば駅から徒歩8分の好立地

サポート機能も充実

## ★需要が拡大している本県産かんしょの生産拡大を支援[R1.9補正]

- ・国内外で需要が拡大している本県産かんしょの生産拡大を図るため農地の確保を促進
- ・加工業者、輸出業者等とのマッチングを推進





# 新しい安心安全へのチャレンジ

医療，福祉，治安，防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。

## ★茨城県医師不足緊急対策行動宣言による主な医師確保対策

### ◇最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の選定

- ・政策医療を確保する観点から選定した医療機関・診療科の必要医師16名を確保するための重点対策を実施
- ⇒これまで、**8.5名確保**（常勤換算）

### ◇県立高校等における医学コースの設置

- ・県立高校・中等教育学校5校において、医学部進学希望者が共に学ぶ学級を編成
- ⇒年間100名の医学部進学者の輩出を目指す

## ★県内初 筑波大学附属病院高度救命救急センター稼働へ

- ・R2.4～ 重篤な全身やけどなど、県内6つの救命救急センターで対応
- 困難な患者に対して、24時間体制で高度な救急医療を提供

## ★性的マイノリティの方々の支援

- 多様性を認め合う社会の実現に向け、性的マイノリティの方々を支援
- ⇒ 都道府県初の「いばらきパートナーシップ宣誓制度」創設（R1.7～）



最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科  
（写真は日立製作所日立総合病院）



性的マイノリティ当事者との面会

### ★県民総ぐるみの健康づくり運動を推進 健康アプリの運用（R1.6 運用開始）

健康づくりプログラム（健康づくり活動によるヘルスケアポイントの付与やランキング化）により、県民の健康づくりや、健康経営に取り組む企業を支援

### ★地域のことは地域で解決する 新たな「茨城助け合い運動」を展開

行政のみでは対応が困難な地域課題を解決するため、先進的な取組を行う  
N P O等に対する支援（提案型助成事業）  
・R1.11 第1回審査委員会分3件採択

### ★ソフト・ハードを組み合わせさせた治水・減災 対策を推進

復旧・復興に取り組むほか、逃げ遅れ防止のためのマイマップや  
マイ・タイムラインの作成を支援  
⇒自助・共助の意識の向上



元気アップ!りいばらき



マイマップ、マイ・タイムライン作成風景





# 新しい人財育成へのチャレンジ

茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

## ★中高一貫教育校を各地域に設置し、魅力ある学校づくりを 県内全域で推進

併設型中高一貫教育校及び中等教育学校を増設し、県内各地域の中等教育の多様化を推進

中高一貫教育校へ改編する高等学校

中高一貫教育に関する説明会の様子

区分	既設	2020年度	2021年度	2022年度
併設型中学校 を設置	日立一	太田一 鹿島 下館一	鉾田一 竜ヶ崎一	水戸一 土浦一
中等教育学校 へ改編	並木中等 古河中等	—	勝田	—



## ★変化の激しいこれからの時代を「生き抜く力」を養成

### ・IBARAKI ドリーム・パス事業

高校生が、自分の夢実現や地域課題解決に向けて企画立案し実践する取組を通して、高い創造意欲とリスクに対しても挑戦することができる力（アントレプレナーシップ）を養成

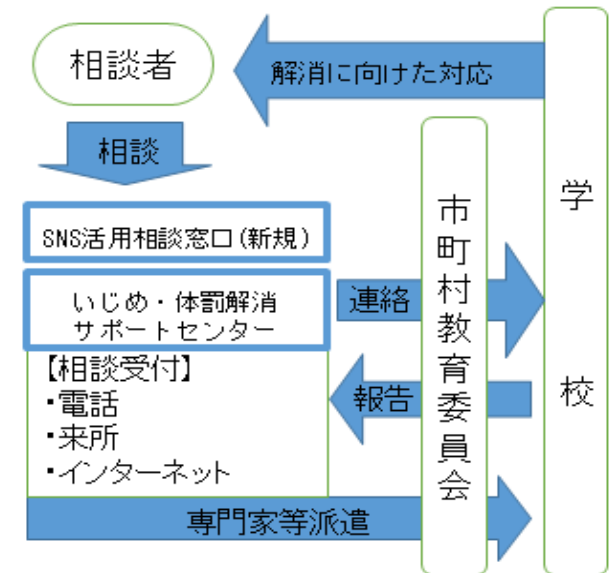
（R2.1.19 IBARAKI ドリーム・パス AWARD開催）



IBARAKIドリーム・パス事業の実施風景

## ★いじめ問題への対策

- ・新たにSNSを活用した相談窓口を開設  
 開設時期：夏季休業明け前後40日（R1.8.10～9.18）  
 相談時間：18時～22時  
 相談対応件数：812件  
 ※冬季休業明け前後20日（R2.1.4～1.23）についても実施
- ・県と市町村・学校が専門家等と連携し，早期対応から  
 解消まで一貫したサポート



いじめ問題への対策スキーム

## ★中高生にトップレベルの英語・プログラミング学習の機会を提供（H30～）

- ・次世代グローバルリーダー育成事業  
 英語の学習意欲・能力の高い中高生に、トップレベルの英語力や思考力を育成
- ・プログラミング・エキスパート育成事業  
 全国トップレベルのプログラミング能力を持つ中高生を育成するとともに、多くの学生がプログラミングに興味を持つような学習サービスを提供



次世代グローバルリーダー育成事業研修会の様子





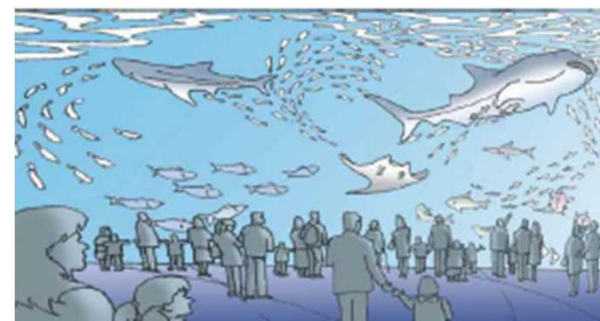
# 新しい夢・希望へのチャレンジ

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力度向上を図ります。

## ★地域観光資源の磨き上げ，魅力の再発見・再発信①

### ○アクアワールド茨城県大洗水族館

- ・神秘的なクラゲの展示などにより、「夜」でも楽しめる水族館を目指して、観光振興の牽引役となるようリニューアル（R2年度予定）
- ・抜群の集客力があるジンベエザメの展示施設を整備（R4年度末予定）  
⇒「ひたちなか大洗リゾート構想」（H3 1.3策定）の中核施設として誘客促進とともに地域経済活性化を図る



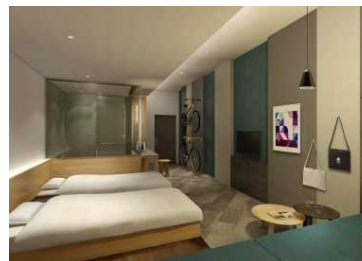
ジンベエザメ展示イメージ

### ○全県的なサイクルツーリズムの推進

- ・「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が、我が国を代表し世界に誇りうるサイクリングルートとして  
**第1次ナショナルサイクルルートに指定（R1.11.7）**

- ・「プレイアトレ土浦」に「星野リゾートBEB5土浦」※がR2.3にオープン予定

※茨城県宿泊施設立地促進事業補助金認定第1号



「BEB5土浦」イメージ



つくば霞ヶ浦りんりんロード

## ★地域観光資源の磨き上げ，魅力の再発見・再発信②

### ○偕楽園

- ・偕楽園・歴史館エリアの魅力向上に向けた構想づくりに着手  
⇒R1.10 業務委託先の星野リゾートから提出された「偕楽園・歴史館エリア観光魅力向上構想」を参考にしながら、引き続き、関係者などと具体的な観光魅力向上策を検討
- ・R1.11月より有料化 ※梅まつり期間を除いて県民は無料  
⇒日本を代表する観光拠点化を目指し、歴史的景観の復元など更なる魅力向上に取り組む



星野リゾート「偕楽園・歴史館エリア観光魅力向上構想」より抜粋したイメージ

### ○茨城県フラワーパーク

国営ひたち海浜公園・ネモフィラと並ぶ「花の聖地」にするため、民間企業の経営感覚と発想を活かした大幅改修を実施中（R3年度リニューアル予定）



レストラン新設イメージ

## ★いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクト

国やJAXA等と連携し、宇宙関連企業が活動しやすい環境づくりに取り組むことにより宇宙ベンチャー等の創出・誘致と県内企業の宇宙ビジネスへの新規参入を推進

- 機運醸成 ・いばらき宇宙ビジネスサミットの開催
- 体制構築 ・宇宙ビジネス特化のワンストップ相談窓口の設置  
・衛星開発に不可欠な小型試験設備を整備  
・コンソーシアムの発足（県内外の65社 ※R1.12月末現在）
- 事業化加速 ・企業のチャレンジを後押しする補助制度の充実  
・コンソーシアム会員の連携事業構想の事業化をサポート



## ★高速バスネットワークの強化

県都水戸と国際研究学園都市つくばの都市間の交流・連携の促進と、インバウンドを含めた観光・ビジネス需要に対応するため、高速バスの増便実証実験に取り組む

○運行開始時期 R1.10

- 運行ルート
- ①水戸～つくば線
    - ・平日 12便増（増便後16便）
    - ・土日祝日 8便増（皆増）
  - ②茨城空港～つくば線 2便増（台湾便運航日に増便）

